

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

令和2年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評いただきました。その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。  
〔 4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切 〕

### ◆基準1 教育理念・目標

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-2 学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	3	3	2	3	3	3	3
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	3	4	4	3	4	3.7	3

学校関係者意見評価	〔特記事項〕 ・令和2年度、「柔道整備学科」と「はり・きゅう学科」の夜間部廃止した。また、プロフェッショナルトレーナー学科を廃止するとともに、トレーナー学科をアスレティックトレーナー学科に名称を変更し、メディカル系の教育内容を強化するカリキュラムに再編した。また「感謝」「自他共栄」「自律」を教育実践のテーマとするCM(カルティベート・モラリティー)教育方針を新に導入し、人間性教育をより強化することとした。
	〔意見〕 ・これらの変更は、教育機関として重要な内容であることから、変更点等を高等学校や入学検討者だけでなく学生や保護者等にも周知する必要があるとの意見があった。

### ◆基準2 学校運営

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	4	4	4	4	4	3	3.7	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4	4	4	4	3	3	3.7	3
2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	4	4	4	4		4	4
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	4	4	4	4		4	4
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	4	4	4	4		4	4
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	3	4	3	3	3	3.3	3
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

学校関係者意見評価	〔特記事項〕 ・トライデントスポーツ医療看護専門学校時代の各学科の独立性を重視した運営方針から、学科間連携や交流を重視し、各学科が学科運営だけでなく教務ならびに学校全般の運営に携わる運営方針に変更している。
	〔意見〕 ・外部委員より、自己点検・報告書の[2-4][2-5][2-6]に関する報告内容が乏しく評価できないとの指摘があった。 (⇒報告資料を速やかに作成し、後日に学校関係者評価委員会の委員に追加説明を行った)

◆基準 3 教育活動

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	4	4	4	3	4	3.7	3
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	4	4	3	4	3	3.7	4
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	3	4	4	3	4	3.6	3
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	3	4	3	3	4	3.4	3
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	3	4	3	3	3	3.3	3
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	3	4	3	2	3	3.3	2
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	3	4	3	3	3	3.4	3

価 学 校 委 校 員 関 係 会 係 意 者 見 評	〔意見〕
	・コロナ禍の終息の目処がたらず対面授業の実施が困難な状況が続いている。今後もこのような状況が続き、平常時に戻っても授業として遠隔授業等のICT教育の導入を求められる傾向が予想される。対面を基本とする医療・健康分野の教育では難しい課題ではあるが、教育方法のあり方についても大きな変化を求められていることを理解し、新たな教育方法を模索する必要がある。 ・教育の質向上には教職員の質の向上が不可欠であり、教職員に対する研修等の実施についても疎かにならないことを期待する。

◆基準 4 学修成果

項目名	委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1 就職率の向上が図られているか	3	3	3	4	3	2	3	3	2
4-2 資格取得率の向上が図られているか	3	3	3	3	2	2	3	2.7	2
4-3 退学率の低減が図られているか	3	3	3	4	3	3	3	3.1	3
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3	3	4	3	3	3	3.1	3
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されている	4	3	3	3	3	3	3	3.1	3

価 学 校 委 校 員 関 係 会 係 意 者 見 評	〔意見〕
	・平成30年度の募集停止の影響で、令和2年度の卒業生は理学療法学科と看護学科の8名と少数であったが、コロナ禍の影響で十分な対面サポートが行えなかったことから、就職率、資格取得率ともに芳しくなかった。今後も対面でのサポートを制限される可能性があることから、対面だけに頼らない指導・サポート体制を早急に構築する必要がある。 ・令和3年度は「名古屋平成看護医療専門学校」として入学した学生を初めて卒業生として送り出す年となる。就職率、資格取得率ともに向上させられるかが学校評価として重要である。

◆基準 5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	4	3	3	3	3	3.3	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	3	4	3	3	4	3.4	2
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	3	4	3	3	3	3.3	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	3	3	3	2	3	3	2

価 学 校 員 関 係 者 意 見 評	(意見)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在学生または卒業生に対する今までの大半の支援活動が対面による活動が中心であり、今日のような対面行動を制限される社会では、十分な支援活動が行えない。何か新たな方策を見出されることを期待する。</li> <li>・コロナ禍による経済的困窮者に対する支援は重要であり、学生の就業機会を確保するためのサポートを可能な限り行ってもらいたい。</li> </ul>

◆基準 6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	3	4	4	3	2	3.3	2
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4	3	4	4	3	3	3.6	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	2	3	4	3	3	2	3	2

学 校 員 関 係 者 意 見 評 価	(意見)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道場建築遅延の報告があったが、柔道整復学科にとって柔道場は必須の教育環境である。在校生の履修に支障のないように対応するとともに、柔道場を早期に建築する必要がある。</li> <li>・コロナ禍の影響により、教育設備としてより必要性が高まっている「Wi-Fi環境の整備」「空調設備の充実」については、行政等の補助金等があれば活用し、速やかに整備することを検討してもらいたい。</li> <li>・地域貢献活動の一環としても、本学の学生や教職員だけでなく地域住民の防災施設としての役割も視野に入れた、防災体制の整備を期待する。まずは防災施設として必要な備蓄品を確保することから始めることを検討してもらいたい。</li> </ul>

◆基準 7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	4	4	4	3	4	4	3.7	4
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3	3	3	3	3	3	3	3	3

価 学 校 員 関 係 者 意 見 評	(特記事項)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低迷していた学生募集活動が、令和3年度は回復し、設置者変更直前のトライデントスポーツ医療看護専門学校の入学者数を上回った。</li> <li>・広報スタッフだけに頼らない、各学科の教員含めた学校全体で学生募集に取り組む学生募集委員会を設置し、入学定員の確保を目指している。</li> <li>・東海エリアでの知名度の更なる向上を目指し、令和2年度にほとんど実施できなかった高校訪問や対面による募集活動を強化する。</li> </ul> <p>(意見)</p> <p>学生の受け入れ募集に係る活動については、改善傾向にあり、今後も継続して取り組むことを期待する。</p>

◆基準 8 財務

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	委員 7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4	3	4	4	3	3	3.6	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4

価 学 校 校 員 関 係 係 意 者 見 評	(特記事項)
	・大学を設置する学校法人として、文部科学省による指導基準に則り運営されているため財務面の管理も厳しく透明性も高い。
	・令和2年度の経常収支差額がマイナスとなっていることについて、近年の宝塚医療大学の新学部設置、そして、本校（名古屋平成看護医療専門学校）を含む専門学校の設置経費が一時的に増加したことが原因との説明があった。
	・令和4年度以降は、設置した大学の新学部ならびに本校（名古屋平成看護医療専門学校）を含む専門学校の学生増による収入の増加が見込まれ、財務状況は改善されるとの説明があった。

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	委員 7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	3	3	4	4	3	4	3.6	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	3	4	4	3	3	3.4	4
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	3	4	4	3	4	3.6	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	3	4	4	3	3	3.4	3

価 学 校 校 員 関 係 係 意 者 見 評	(意見)
	・情報公開など法令順守以上の社会のニーズに応える水準を目指すことを期待する。

◆基準 10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	委員 4	委員 5	委員 6	委員 7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	4	4	4	3	3	3.7	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	4	3	4	4	3	3.7	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	3	4	4	3	3	3.4	3

価 学 校 校 員 関 係 係 意 者 見 評	(意見)
	・今までの社会貢献、地域貢献活動については、実施可能な状況になれば速やかに実施するとともに、医療・スポーツ分野の従事者を養成する学校として、従来の対面活動に限定しない新しい形の社会貢献・地域貢献活動の創造を期待する。

令和3年8月25日

学校法人 平成医療学園  
名古屋平成看護医療専門学校  
校長 高木 保子